



— 記者発表資料 —

臨港道路「南本牧はま道路」の開通による効果

～南本牧ふ頭から本牧ふ頭入口までの所要時間が60%短縮～

横浜市中区に位置する「南本牧はま道路」(延長約2.5km)及び「首都高湾岸線南本牧ふ頭出入口」(延長約1.2km)が平成29年3月4日(土)に開通しました。

このたび、開通1年後の交通量及び所要時間を取りまとめましたのでお知らせします。

〔高速道路まで及びふ頭間の走行時間が短縮〕

- ・「南本牧ふ頭ターミナル出入口」から「首都高湾岸線本牧ふ頭入口 本線合流部」までの走行時間は、**約60%短縮**されました。
- ・「南本牧ふ頭ターミナル出入口」から「錦町」までの走行時間は、**約40%短縮**されました。

〔並行する道路の混雑が緩和〕

- ・「市道52号」の交通量は**約20%減少**しました。そのうち、大型車は**約30%減少**しました。
- ・「南本牧大橋」の交通量は**約40%減少**しました。そのうち、大型車は**約50%減少**しました。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、神奈川建設記者会、
横浜海事記者クラブ、物流専門紙、その他専門紙

お問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 京浜港湾事務所 電話 045-226-3751

副所長 あかしま かずや 赤嶋 和弥 前任建設管理官 おおつぼ たかあき 大坪 貴明

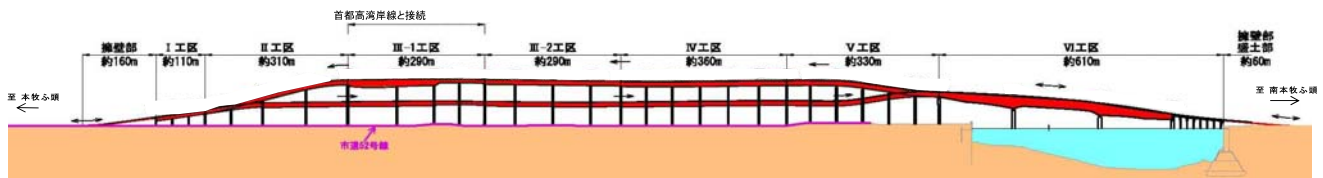
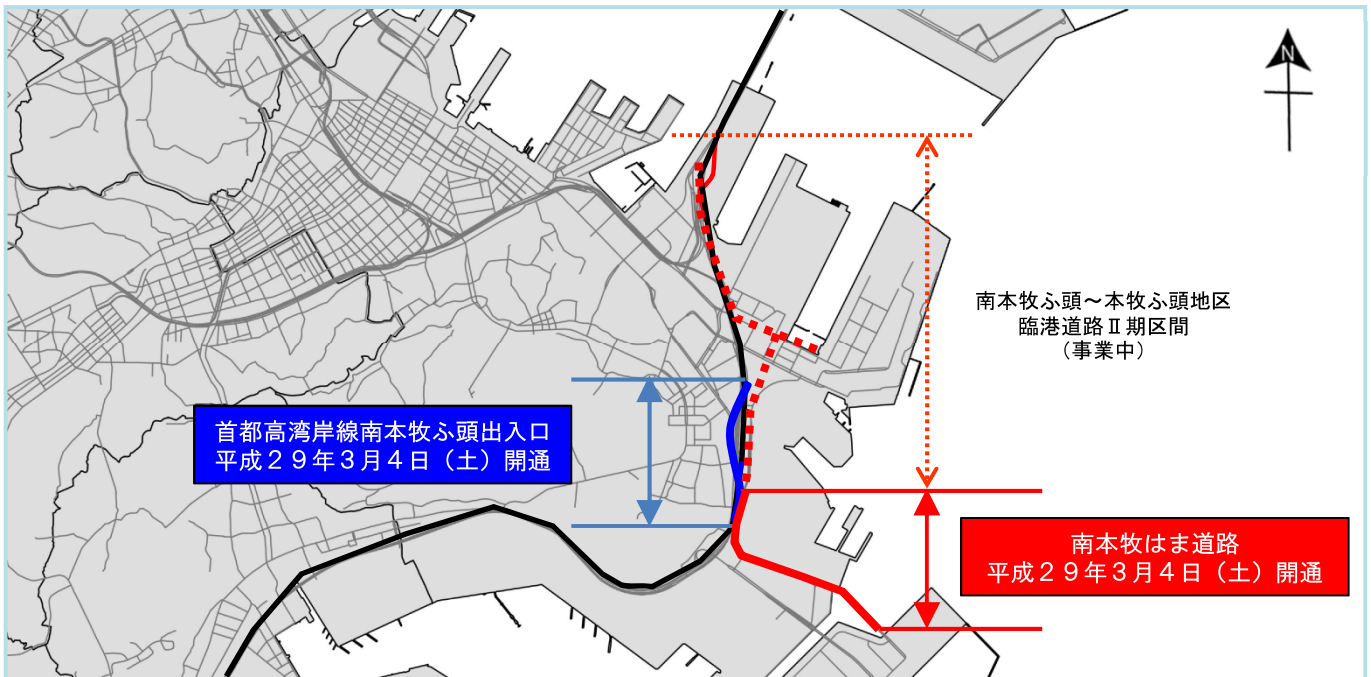
横浜市港湾局 港湾物流部 電話 045-671-2714

物流企画課長 さいとう しんたろう 齋藤 慎太郎

臨港道路「南本牧はま道路」の概要

横浜港において、大水深コンテナターミナルが集中する南本牧ふ頭と本牧ふ頭を接続するとともに、南本牧ふ頭と首都高湾岸線を直結することで、物流の効率化を通じた国際競争力の強化を図るため整備中の臨港道路です。

I 期区間である南本牧はま道路（南本牧ふ頭～錦町間）及び首都高速湾岸線南本牧ふ頭出入口が昨年3月4日に供用を開始したところです。



南本牧はま道路

- 事業名 横浜港南本牧ふ頭～本牧ふ頭地区臨港道路整備事業
- 事業主体 国土交通省 関東地方整備局 京浜港湾事務所
- 事業区間 神奈川県横浜市中区南本牧ふ頭～本牧錦町
- 道路延長 約2.5km
- 道路規格 4種1級 2車線（片側1車線） 設計速度60km

首都高湾岸線南本牧ふ頭出入口

- 事業名 南本牧ふ頭連絡臨港道路・南本牧ふ頭出入口
- 事業主体 横浜市 港湾局
- ランプ延長 約1.2km
- ランプ規格 A規格 2車線（片側1車線） 設計速度40km

走行時間の短縮

・南本牧ふ頭ターミナル出入口～首都高 本牧ふ頭入口 本線合流部までの走行時間は、約13分半から約6分になり**約60%**短縮されました。

・南本牧ふ頭ターミナル出入口～錦町までの走行時間は、約8分から約4分半になり**約40%**短縮されました。

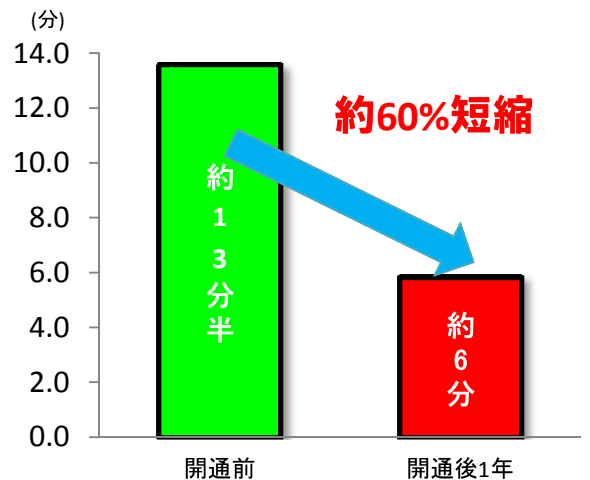
南本牧ふ頭ターミナル出入口～ 首都高 本牧ふ頭入口本線合流部



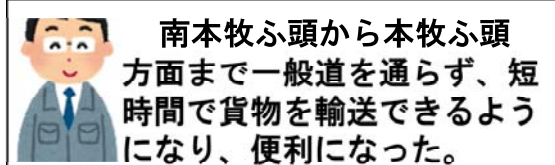
市道利用ルート
首都高 本牧ふ頭入口経由



開通区間利用ルート
首都高 南本牧ふ頭入口経由



物流関連団体の声



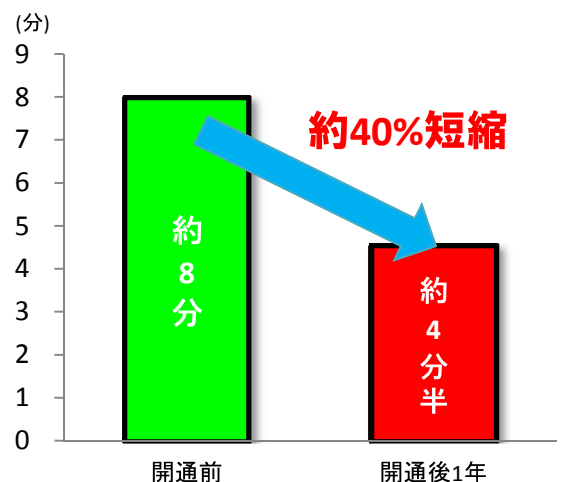
南本牧ふ頭ターミナル出入口～錦町



市道利用ルート



開通区間利用ルート

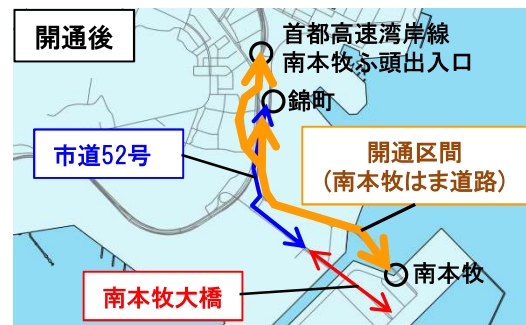
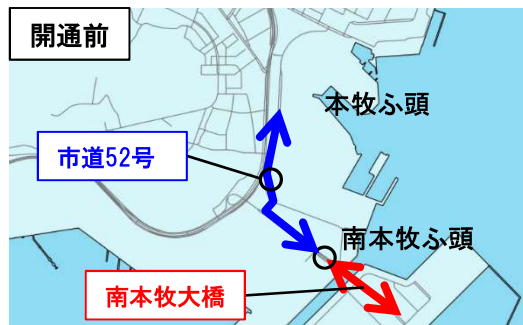


(出典: 京浜港湾事務所交通量調査より)
【調査日】開通前 平成29年2月9日(木) 開通1年後 平成30年3月8日(木)

並行する道路の混雑緩和

開通区間の交通量

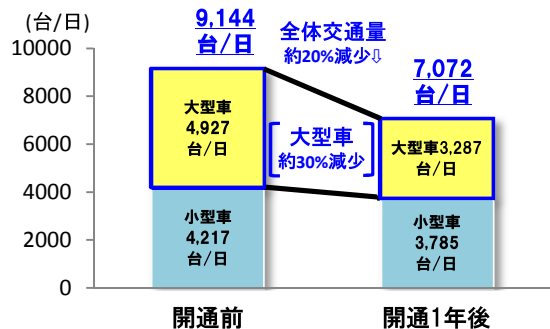
- ・開通区間の交通量は、約5,900台/日(約4,900台/日)となっています。
 - 【内訳】
 - ・錦町出入口経由、市道52号へアクセス 約3,000台/日(約2,700台/日)
 - ・首都高速湾岸線南本牧ふ頭出入口経由、首都高速へアクセス 約2,900台/日(約2,200台/日)
- ※()内は、うち大型車交通量



並行する道路の交通量

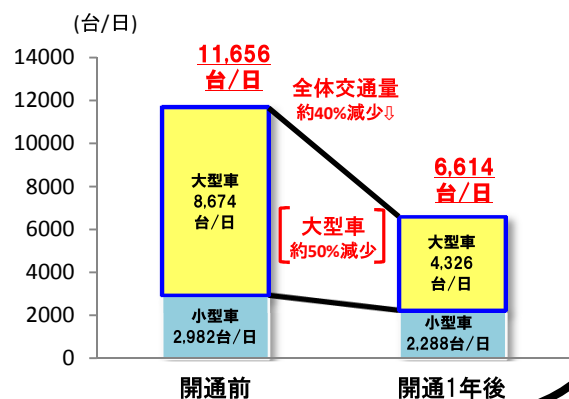
- ・市道52号の交通量は約9,100台/日から約7,100台/日に約20%減少しました。(そのうち、大型車は約4,900台/日から約3,300台/日に約30%減少) ※図1参照

図1 市道52号の交通量



- ・南本牧大橋の交通量は約11,700台/日から約6,600台/日に約40%減少しました。(そのうち、大型車は約8,700台/日から約4,300台/日に約50%減少) ※図2参照

図2 南本牧大橋の交通量



(出典:京浜港湾事務所交通量調査より) 【調査日】開通前 平成29年2月9日(木) 開通1年後 平成30年3月8日(木)

市道52号や南本牧大橋を利用していた大型車が30~50%減少し、開通した南本牧はま道路へ流れています。また、走行時間は40~60%短縮となり、ふ頭間の円滑な連絡及び首都高へのアクセスが向上したことで、物流の効率化に貢献しています。

引き続き、臨港道路Ⅱ期区間の事業を進め、更なる効果の発現に努めてまいります。